

# Okanagan Landing Elementary (公立の小学校)

## BC 州子育て支援プログラム“STRONG START”

お話：

レポート：小林清美

### ★BC 州子育て支援プログラム

#### “STRONG START”

＊2～4 才児親子を対象にした、BC 州が設置している子育て支援プログラムで、ケロウナには 4 カ所ある。先生によって運営の方針は違うので、色々なところに行って自分に合った施設を選ぶ。どこを選ぶかは自由選択。

### ★STRONG START での先生の役割は

- ① プログラム作り・それぞれの家庭の相談業務・必要な支援の橋渡しなどである。
- ② 引越しをしてきた人をつなげていく役割もあり、小学校にいきなり入ることによるストレスをなるべく感じないように、学校の中でこういった支援プログラムを行い無理なく入れるようにしている。
- ③ 毎日来る子もいるし、定期的な曜日を決めてくる子もいる。通っている間に何人もの人が友達になっていく。
- ④ 一日の流れは、来た親子から自由に遊ぶ。時間が来ると片づけをしてサークルタイムが始まり、歌を歌ったりカレンダーゲームをしたり本を読んだりする。その後はみんなでジムに行きボール遊びやマット遊びなど親子で体を動かす。そして部屋に戻りスナックタイムがあり、最後にまた自由遊びという流れになっている。
- ⑤ 教材は小さい子がいるので、口に入れても安全で汚れても洗い流せるもの



にしている。

- ⑥ この教室でやりたいことは、親の教育をしたい。それを心がけて運営していると、親も子も変わっていくので、それがとても楽しい。
- ⑦ 親子を良く観察していると、たとえば親が携帯ばかり見ていると、子どもが話しかけると一応返事はするが心は携帯にいつているのがわかる。

### ★利用者の声

- ① ここは子どもの社会性を身に付けるために、たくさんの人と知り合うことができる



- ② 入れた理由は、上の子が学校に行っている間、下の子と二人きりになってストレスがたまらないようにということと、孤立して孤独にならないようにとの思いから。
- ③ この場所のいいところは、やるのがたくさんあるし、ジムに行ったり、本を読んだりできる。また、毎日アクティビティーが違い、先生が工夫してくれる。
- ④ 子どもにとって良かったことは、上の子と二人で遊んでいた時よりもほかの子と遊ぶようになってから、どこに預けても大丈夫なようになった。また、通い始めて3週間だが、**STRONG START**に行くというと、自分から支度するようになった。
- ⑤ この場所で知り合った人とは、小学校になっても友達でいられる。

### ★視察しての感想

- ① 先生が一つ一つ指示を出さなくても、次の行動に移る時間になると誰からともなく片づけ始めたり、所定の所に集まったりしていました。
- ② 全員が自主的に行動することが小さいころから自然に身につけている様子がよくわかりました。
- ③ 朝の集まりでは、歌を歌ったり本を読んだりしていましたが、親子で一緒に歌ったり、絵本も楽しそうに見ていました。
- ④ 朝の会が終わるとジムの部屋に行き、それぞれ自分の遊びたいものを用意して親子で遊び始めていましたが、その時も先生はどこにいるかわからないほど親と変わらない動きをしていました。
- ⑤ 部屋に戻ると用意されていた果物や



チーズを子ども達は食べていました。

- ⑥ そして帰りの時間になるまでまた自由に遊んでいました。
- ⑦ 活動を通して、先生が全員に対して何か説明したり指示したりすることがなく、参加者自身が新しいアクティビティーがあればそれに気が付き楽しんでいるし、遊びの種類もたくさん用意されているので、子どもの興味に合わせてそれぞれのペースで遊びながら、親も他の親との交流を楽しんでいました。
- ⑧ 環境設定の大切さというのがとてもよくわかりました。

